

令和8年度脱炭素経営実践企業競争力強化プログラム業務委託仕様書

1 業務目的

近年、世界的な脱炭素社会への意識の高まりの中で、企業経営においても脱炭素化に向けた取組が重視される風潮が高まっており、中小企業が脱炭素経営に取り組むことは、省エネ等を通じたカーボンニュートラルへの貢献やコスト削減だけでなく、自社の成長や競争力強化につながることを期待できる。

しかし、多くの県内中小企業にとって、脱炭素経営に向けた取組は、専門的な知識及び人材等が不足している等の理由から、十分に実施できていない状態にあると考えられる。

このため、県内中小企業の経営層が座学及び課題解決演習を通じて、全社一体となって計画的に脱炭素経営に取り組む手法を学ぶ「脱炭素スクール」を開催するとともに、県内中小企業と大学生が採用における脱炭素経営の重要性について意見交換し、参加企業がその内容を踏まえた採用PRを検討・実践する「採用力向上ワークショップ」を開催することで、脱炭素経営の促進及び採用力向上（人材確保）を図り、企業の競争力の強化につなげることを本業務の目的とする。

2 契約期間

契約締結日から令和9年3月12日（金）まで

3 業務の内容

(1) 脱炭素スクールの企画・運営

受注者は、発注者と必要な調整を行い、次に掲げる脱炭素スクールの企画運営に関する業務を行うこと。

ア 脱炭素スクールの企画、カリキュラム策定等

イ 脱炭素スクール参加企業の募集

ウ 修了証の作成（デザイン込み、印刷校正2回程度、再委託可）

エ 講師選定（謝金支払い含む。）

オ 参加申込の受付、申込者との連絡調整、脱炭素スクール開催期間中の受講者サポート等

カ 会場設営（会場費用支払い含む。）

キ 当日運営（ファシリテーション含む。）

ク その他必要な事項

なお、脱炭素スクールの企画運営に当たっては、次の要件を満たすこと。

| 項目 | 要件 |
|---------|-----------|
| 開催回数 | 3回程度 |
| 開催時期 | R8.6～R8.9 |
| 受講者数の目標 | 5社程度 |

| | |
|--------|---|
| 受講可能な者 | 県内に事業所を有する中小事業 |
| 開催方法 | 原則、現地開催（オンライン開催のハイブリッド形式も可） |
| 参加費 | 無料 |
| カリキュラム | ① 脱炭素経営の基礎知識等の取得 ② 自社の温室効果ガスの排出量の算定 ③ 温室効果ガスの排出量の削減計画の策定 ④ 脱炭素経営をステークホルダーにPRする手法 ⑤ 青森県の地域特性を踏まえた脱炭素の取組とその取組を生かした事業戦略の検討 |
| 修了要件 | ・全ての講座を受講すること。 ・本スクールで得られた成果（脱炭素化計画又は具体的な取組）を公表すること。 |

（２）採用力向上ワークショップの企画・運営

受注者は、発注者と必要な調整を行い、次に掲げる採用力向上ワークショップの企画運営に関する業務を行うこと。

ア 採用力向上ワークショップの企画

イ 採用力向上ワークショップ参加企業の募集

ウ 採用力向上ワークショップ参加学生の募集

エ 参加申込の受付、申込者との連絡調整等

オ 会場設営（会場費用支払い含む。）

カ 当日運営（ファシリテーション含む。）

キ その他必要な事項

なお、採用力向上ワークショップの企画運営に当たっては、次の要件を満たすこと。

| 項目 | 要件 |
|---------------|--|
| 開催回数 | 1回程度 |
| 開催時期 | R8.9～R8.11 |
| 参加数の目標 | 企業10社程度・大学生10～20名 |
| 参加可能な者 | 県内に事業所を有する中小事業者・大学等に籍を置く学生 |
| 開催方法 | 原則、現地開催（オンライン開催のハイブリッド形式も可） |
| 参加費 | 無料 |
| ワークショップに求める要素 | ①参加企業と参加学生双方で、脱炭素経営に関する意見が活発にやり取りされること ②参加企業が脱炭素経営を生かした採用PRを検討し実践すること |

4 委託業務の成果物

(1) 提出期限 令和9年3月12日(金)

(2) 業務報告書

紙媒体(A4判 1部)及び電子媒体(CD-ROM等一式)

【業務報告書の内容】

① 脱炭素スクールの開催結果の報告

② 採用力向上ワークショップの開催結果報告

5 その他

(1) 受注者は、業務の実施のため必要と認められる場合は、発注者と十分協議を行い、発注者の要請に応じて適正に実施すること。

(2) この仕様書に定めがない事項及び疑義が生じた事項については、発注者と受注者が協議の上決定する。